

第30回中日理論言語学研究会シンポジウム:
「方言データから垣間見る言語の変化」

山西方言から北京語へ —継続相を中心に—

沈 力
同志社大学
lshen@mail.doshisha.ac.jp

問題提起と提案

- “継続相(durative)”は、ある事態が未完了の状態に置かれていることを表す統語範疇である。この範疇は、事態のタイプによってさらに2つに分類される。
 - 動作の継続: 進行
 - 状態の継続: 持続
- 持続マーカー: ZHEは2つの位置に現れる。
 - ZHE1----動詞に後続する。
 - ZHE2----目的語名詞句に後続する。
- ヒント: 2つのLEからの連想----刘勳宁(1985, 1988, 1990)
 - LE1(実現)-----動詞に後続する。
 - LE2(モーダル)-----目的語名詞句に後続する。

2

■ 平遥方言: 分業型

ZHE1は持続を担い、ZHE2は進行を担う。

- (1) a. uA²²³ tcia¹³ tiA²⁵⁴ xuv¹³ tsA²²³ tsuA²⁵⁴ -tiA²⁵⁴ tvŋ¹³ liA²²³.
兀 家 的 房 子 着 ZHE1 灯 SFP
b. *uA²²³ tcia¹³ tiA²⁵⁴ xuv¹³ tsA²²³ tsuA²⁵⁴ tvŋ¹³ -tiA²⁵⁴ liA²²³.
兀 家 的 房 子 着 灯 ZHE2 SFP
‘彼の家には電気が付いている。’
- (2) a. uA²²³ tcia¹³ tsʰA²³² xuan³⁵ -tiA²⁵⁴ liA²²³.
兀 家 吃 饭 ZHE2 SFP
b. *uA²²³ tcia¹³ (tsʰ³⁵) tsʰA²³² -tiA²⁵⁴ xuan³⁵ liA²²³.
兀 家 正 吃 ZHE1 饭 SFP
‘彼はご飯を食べている。’

■ 趙城方言: 混用型

ZHE1もZHE2もそれぞれ持続と進行を担っている。

3

- (3) a. na²¹ tcia²¹ k'e²¹ -tʂy myn-ə²⁴ (li)
他 家 开 ZHE1 门 儿 SFP
b. na²¹ tcia²¹ k'e²¹ myn-ə²⁴ -tʂy *(li) (注意喚起)
他 家 开 门 儿 ZHE2 SFP
‘彼の家はドアが開いている。’
- (4) a. na²¹ tʂyn²⁴ tsʰ²¹ -tʂy fan⁵³ (li)
他 正 吃 ZHE1 饭 SFP
b. na²¹ tʂyn²⁴ tsʰ²¹ fan⁵³ -tʂy li (注意喚起)
他 正 吃 饭 ZHE2 SFP
‘彼はご飯を食べている。’

■ 霍州方言: ZHE2偏重型

ZHE2は持続も進行も担うが、ZHE1はどちらも担わない。

- (5) a. t'y³³ tʂu²¹² sʰ³³ tʂian³³ tvŋ²¹² -tʂy lie.
他 住 舍 点 灯 ZHE2 SFP

4

- b. *t'y³³ tʂu²¹² sʰ³³ tʂian³³ -tʂy tvŋ²¹² lie.
他 住 舍 点 ZHE1 灯 SFP
‘彼の家は電気が付いている。’
- (6) a. t'y³³ tsʰ²¹² fan⁵³ -tʂy lie.
他 吃 饭 ZHE2 SFP
b. *t'y³³ tsʰ²¹² -tʂy fan⁵³ lie.
他 吃 ZHE1 饭 SFP
‘彼はご飯を食べている。’

■ 北京話: ZHE1偏重型

ZHE1は持続と進行を担い、ZHE2はどちらも担わない。

- (7) a. t'a⁵⁵ tcia⁵⁵ tian²¹⁴ -tʂy tvŋ⁵⁵ ny
他 家 点 ZHE1 灯 SFP
b. *t'a⁵⁵ tcia⁵⁵ tian²¹⁴ tvŋ⁵⁵ -tʂy ny
他 家 点 灯 ZHE2 SFP
‘彼の家は電気が付いている。’

5

- (8) a. t'a⁵⁵ tʂyn⁵¹ tsʰ⁵⁵ -tʂy fan⁵¹ ny
他 正 吃 ZHE1 饭 SFP
b. *t'a⁵⁵ tʂyn⁵¹ tsʰ⁵⁵ fan⁵¹ -tʂy ny
他 正 吃 饭 ZHE2 SFP
‘彼はご飯を食べている。’

■ 問題:

進行と持続はなぜ2つのZHEIによって担われるのか。

- 平遥方言では、ZHE1は持続を担い、ZHE2は進行を担う。
- 趙城方言では、ZHE1もZHE2もそれぞれ持続と進行を担う。
- 持続と進行は、霍州方言ではZHE2のみ、北京方言ではZHE1のみによって担われている。

■ 提案:

方言におけるZHE1とZHE2の役割分担の違いは、ZHEの文法化によって引き起こされた現象である。

- 語彙の意味によって束縛されるZHEのジレンマ:
 - 語彙的意味: [+自主]と[-自主]
 - 文法的機能: [進行]と[持続]

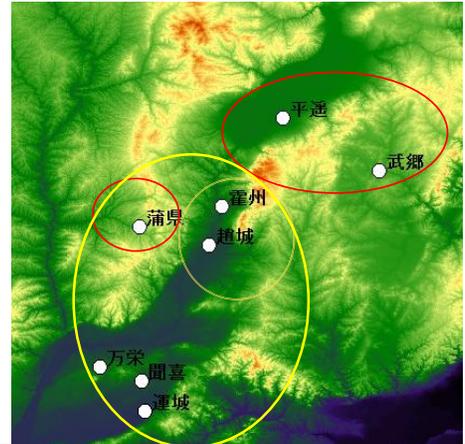
6

- 語彙的束縛から解放されたZHEの一連の変化:
 - 「進行」と「持続」の混用
 - 混用を避けるためのモーダル化(異化)
- ZHEの文法化の四段階:
 - 平遙方言:
 - 語彙的束縛によって「進行」と「持続」の対立がある。
 - 霍州方言:
 - 語彙的束縛の解消とともに「進行」と「持続」の対立が消える。
 - 趙城方言:
 - 「進行」と「持続」の混用により、ZHE2に新機能が誕生する。
 - 北京方言:
 - ZHE2のモーダル機能が確立すると、そのアスペクト機能が消える。

梅祖麟(1988):漢代音の再建
[drjak] [trjak]

7

八方言の分布図



8

根拠1: 2つのZHEにおける語彙的相違: [±自主性]

- 移動動詞(付着を表す):
 - ZHE1とZHE2は自主性(agentivity)の対立がある。
 - ZHE1:対象物の付着→存在
 - ZHE2:動作者の付着→到達
- Cf. 日本語の/tsuku/'つく'は曖昧。
 - しみがついた。 対象物の付着
 - 電車がついた。 動作者の付着

9

- 現象1: ZHE1の基本機能: “対象物の付着=存在”。
 - tsuA²³-ty s⁵⁵ kA⁷³ -ty iY²³ ky vA²¹³ <武郷>
桌子上 搁 ZHE1 一个碗
 - tsuA²³ tsuA⁷⁴⁵-xɔ³⁵ xuɔ¹³ -tiA²⁵⁴ iA⁷³² uaj⁵³ suei⁵³ liA⁷²³. <平遙>
桌子上 放 ZHE1 一碗水 SFP
 - tsuɔ⁵¹ ə ʃv liɔ³³ -tiʔ/?-tʃv uæ¹¹ ə (lie). (tʃv:北京腔) <蒲県>
桌子上 摆 ZHE1 碗儿 哩
'机には茶碗/水が置いてある.'
- 現象2: ZHE2の基本機能: “動作者の付着=到達”
 - <到達>の意味を持つZHEは、晋方言には見られるが、中原官話には見られない。
 - t'a¹¹³ p'ɔ²¹³ -ty ta⁵⁵ maŋ³³ k'yu l³³ liv. <武郷>
他 跑 ZHE2 大 门 口 儿 SFP
 - uA²²³ tɕia¹³ p'ɔ³³ -tiA²⁵⁴ ta³⁵ mɤŋ¹³ k'yu⁵³ ʒA²²³ la³¹. <平遙>
兀 家 跑 ZHE2 大 门 口 儿 SFP
'彼は玄関まで走った.'

10

c. t'a¹¹ p'au¹¹ -tiʔ/?-tʃv na ə laʔ <蒲県(古代用法の名残)>
他 跑 ZHE2 哪儿 SFP
'彼はどこまで走ったか.'

武郷方言には「V-ZHE2」で<到達>を表す例が見られる。

- t'a¹¹³ k'Y⁴² liv. 彼は行った。
他 去 SFP
- t'a¹¹³ k'Y⁴² -ty liv. 彼は着いた。
他 去 ZHE2 SFP
- t'a¹¹³ le³³ liv. 彼は来た。
他 来 SFP
- t'a¹¹³ le³³ -ty liv. 彼は着いた。
他 来 ZHE2 SFP

Cf. 古代漢語のZHEには<到達>の意味がある。

- 《雨中寄東溪韋處士》(《全唐詩:王建》p.3431)
雨中溪破無干地, 浸著床頭濕著書。
一個月來山水隔, 不知茅屋若為居。

11

'雨中河が氾濫し、到るところが水浸しになり、ベッドまで浸水し、本まで濡れた。一ヶ月ご無沙汰しているが、あのあばら家はまだ住めるのだろうか。'
(ii) 既那般呵, 前不著村, 后不著店也。《旧本老乞大》(8/3b3-4)
'それなら、前に進んでも村に着かず、後ろへ後退しても店に着かないことだ.'

- 現象3: ZHE2が目的語に後続して、動作者の移動方法を表す。
 - nz²¹³ (k'Y⁴²) xaŋ²¹³ tɕivu²¹³ -ty va. <武郷>
你 去 荷 酒 ZHE2 SFP
 - ŋ⁵³-ny (tɕy³⁵) xei¹³ tɕivu⁵³ -tiA²⁵⁴. <平遙>
你 去 荷 酒 ZHE2
'君はお酒を取りにいってください.'

Cf. 北京方言の“去(行く)”

- “去1”: 対象物の移動、“去2”: 動作者の移動。
- ʃan⁵⁵-san⁵⁵ [tɕi⁵¹ pau⁵⁵-kuo²¹⁴] tɕy⁵¹ ly. <解釈: 張三が行った>
张三 寄 包裹 去2 了
'張三は何物を郵送しに行った.'

12

b. tʂaŋ⁵⁵-san⁵⁵ [tʂi⁵¹-tʂy⁵¹]-lv i³⁵-ky pau⁵⁵kuo²¹⁴.
 张三 寄去1 了一个 包裹
 '張三是荷物を送って行った。' <解釈: 荷物が行った>

(ii) a. tʂaŋ⁵⁵-san⁵⁵ [xui³⁵ tʂia⁵⁵] tʂy⁵¹ lv.
 张三 回家 去2 了
 '張三是家に帰って行った。' <解釈: 張三が行った>

b. *tʂaŋ⁵⁵-san⁵⁵ [xui³⁵-tʂy⁵¹]-lv tʂia⁵⁵.
 张三 回去1 了 家
 '張三是家に帰って行った。' * <解釈: 家が行った>

■ 統語構造におけるZHE1とZHE2の位置

```

    モーダル句
    /      \
    方向句  モーダル
    /      \
    動詞句  方向
    /      \
    V-存在  名詞句
    ZHE1
    
```

13

根拠2: 自主性対立によるアスペクトの対立

■ 空間から時間への文法化

ZHE2とZHE1には、それぞれ空間範疇から時間範疇への変化が起こっているが、自主性の対立が保持されている。

- ZHE1: 対象物の付着から状態の付着へ、即ち状態持続。
- ZHE2: 動作者の付着から動作の付着へ、即ち動作進行。

■ 平遥方言 cf. (1)-(2)

ZHE1は持続を担い、ZHE2は進行を担う。

(1) a. uA²³ tʂia¹³ tiA²⁵⁴ xu¹³ tsA²³ tsuA²⁵⁴ -tiA²⁵⁴ tvŋ¹³ liA²³.
 兀 家 的 房 子 着 ZHE1 灯 SFP
 b. *uA²³ tʂia¹³ tiA²⁵⁴ xu¹³ tsA²³ tsuA²⁵⁴ tvŋ¹³ -tiA²⁵⁴ liA²³.
 兀 家 的 房 子 着 灯 ZHE2 SFP
 '彼の家には電気が付いている。'

14

(2) a. uA²³ tʂia¹³ tʂA²³² xuan³⁵ -tiA²⁵⁴ liA²³.
 兀 家 吃 饭 ZHE2 SFP
 b. *uA²³ tʂia¹³ (tʂi³⁵) tʂA²³² -tiA²⁵⁴ xuan³⁵ liA²³.
 兀 家 正 吃 ZHE1 饭 SFP
 '彼はご飯を食べている。'

■ 武郷方言

ZHE1は<持続>を担うが、<進行>を担わない。ZHE2はアスペクト機能を持たない。

(14) a. t'a¹¹³ tʂia¹¹³ k'e¹¹³ -tv man³³ tv lv '彼の家はドアが開いている。'
 他 家 开 ZHE1 门 子 SFP
 b. t'a¹¹³ tʂaŋ⁵⁵ ts'y³ (*-tv) fae⁵⁵ lv '彼はご飯を食べている。'
 他 正 吃 ZHE1 饭 SFP

(15) a. *t'a¹¹³ tʂia¹¹³ k'e¹¹³ man³³ tv -tv lv '(14a)と同様。'
 他 家 开 门 子 ZHE2 SFP
 b. t'a¹¹³ tʂaŋ⁵⁵ ts'y³ fae⁵⁵ (*-tv) lv '(14b)と同様。'
 他 正 吃 饭 ZHE2 SFP

15

■ 機能の変化: 空間から時間へ

```

    モーダル句
    /      \
    方向句  モーダル
    /      \
    動詞句  方向
    /      \
    V-存在  名詞句
    ZHE1
    
```

↓

```

    モーダル句
    /      \
    アスペクト句  モーダル
    /      \
    動詞句  進行
    /      \
    V-持続  名詞句
    ZHE1
    
```

16

根拠3: 自主性対立の消失によるアスペクト対立の消失

■ ZHE2偏重型: 霍州方言

ZHE1とZHE2は空間範疇において対立がないので、時間範疇においても対立が見られない。

(16) a. ?tsu²¹² tʂj ʂy³³ f⁵⁵ -tʂy uan³³ lie.
 桌 子 上 放 ZHE1 碗 SFP
 b. uan³³ tʂ'ai⁵³ tsu²¹² tʂj ʂy³³ f⁵⁵ -tʂy lie.
 碗 在 桌 子 上 放 ZHE SFP
 '机の上には茶碗が置いてある。'

17

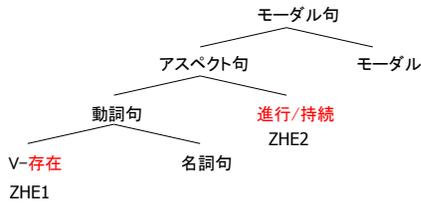
(17) a. *t'y³³ tʂy⁵⁵ ho³³ uan³³ -tʂy lie.
 他 去 荷 碗 ZHE2 SFP
 b. t'y³³ tʂy⁵⁵ ho³³ uan³³ tʂi -ja.
 他 去 荷 碗 去 SFP
 '彼は茶碗を取りに行く。'

(18) a. *t'y³³ tʂu²¹² ʂy³³ tʂian³³ -tʂy tvŋ²¹² lie.
 他 住 舍 点 ZHE1 灯 SFP
 b. t'y³³ tʂu²¹² ʂy³³ tʂian³³ tvŋ²¹² -tʂy lie.
 他 住 舍 点 灯 ZHE2 SFP
 '彼の家は電気がついている。'

(19) a. *t'y³³ tʂ'ʂ²¹² -tʂy fan⁵³ lie.
 他 吃 ZHE1 饭 SFP
 b. t'y³³ tʂ'ʂ²¹² fan⁵³ -tʂy lie.
 他 吃 饭 ZHE2 SFP
 '彼はご飯を食べている。'

18

■ 自主性対立を失った方言のAspect: ZHE2偏重型



■ ZHE混用型:

ZHE1とZHE2が自主性対立を失っているため、Aspect機能において混用現象が見られる。

19

■ 蒲県方言

(20) a. t'a⁵¹ xa³³ k'ai⁵¹ *-tiŋ[?]/-tʂy me¹³ li.
他 家 开 ZHE1 门 SFP
'彼の家はドアが開いている。'

b. t'a⁵¹ xa³³ xa¹³ tʂ'v²³³ tɕi⁵¹ -tʂy *(li)
他 家 还 着 灯 ZHE2 SFP
'彼の家はまだ電気がついている。'

注意喚起

(21) a. t'a¹¹ (tʂvŋ³³) tʂ'ŋ⁵¹ *-tiŋ[?]/-tʂy fɛ³³ li.
他 正 吃 ZHE1 饭 SFP

b. t'a¹¹ (tʂvŋ³³) tʂ'ŋ⁵¹ fɛ³³ -tʂy li
他 正 吃 饭 ZHE2 SFP
'彼はご飯を食べている。'

注意喚起

■ 聞喜方言

(22) a. t'a tsvŋ tʂ' (-tsie) fan (li).
他 正 吃 ZHE1 饭 SFP

20

b. t'a tsvŋ tʂ' fan (-tsie) (li). 注意喚起

他 正 吃 饭 ZHE2 SFP
'彼はご飯を食べている。'

(23) a. t'a u tian (-tsie) tei (mə).

他 屋 点 ZHE1 灯 SFP

b. t'a u tian tei -tsie.

他 屋 点 灯 ZHE2

'彼の家は電気がついている。'

■ 万榮方言

(24) a. na²¹ tciə²¹ k'e²¹ -tʂy myn-ɔ²⁴ (li)

他 家 开 ZHE1 门儿 SFP

b. na²¹ tciə²¹ k'e²¹ myn-ɔ²⁴ -tʂy *(li) 注意喚起

他 家 开 门儿 ZHE2 SFP

'彼の家はドアが開いている。'

21

(25) a. na²¹ tʂvn²⁴ tʂ'ŋ²¹ -tʂy fan⁵³ (li)

他 正 吃 ZHE1 饭 SFP

b. na²¹ tʂvn²⁴ tʂ'ŋ²¹ fan⁵³ -tʂy li 注意喚起

他 正 吃 饭 ZHE2 SFP

'彼はご飯を食べている。'

■ 運城方言

(26) a. yə³³ li xa¹³ sai³³ -tʂy i³¹ fu.

院子里 还 晒 ZHE1 衣服

b. yə³³ li xa¹³ sai³³ i³¹ fu -tʂy lɛ. 注意喚起

院子里 还 晒 衣服 ZHE2 SFP

'庭にはまだ服が干してある。'

(27) a. t'a⁵³ tʂ'ŋ³¹ -tʂy fɛ³³ lɛ.

他 吃 ZHE1 饭 SFP

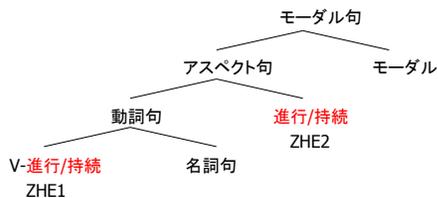
b. t'a⁵³ ts'ai³³ tʂ'ŋ³¹ fɛ³³ -tʂy lɛ. 注意喚起

他 在 吃 饭 ZHE2 SFP

'彼はご飯を食べている。'

22

■ 自主性対立を失った方言のAspect: 混用型



23

根拠4: ZHEの混用によるモーダル機能の誕生

■ モーダル機能の誕生条件

自主性対立の消失は、ZHE1とZHE2のAspect上の混用を招く。その混用を避けるために、ZHE2の新機能が生まれると考えられる。

■ ZHE1とZHE2の間にAspect上の混用がある場合、ZHE2にモーダル機能が観察されるが、逆に、ZHE1とZHE2の間にAspect上の混用がない場合、ZHE2にはモーダル機能が観察されない。

■ 平遥方言(20歳前後のインフォーマント):

ZHE1とZHE2はAspect上の混用が見られるが、ZHE2文には注意喚起の意味が含まれる。

(28) a. uΛ²³ tciə¹³ (tʂ'ŋ³⁵) tʂ'ŋ³² -tiΛ²⁴ xuan³⁵ liΛ²³

兀 家 正 吃 ZHE1 饭 SFP

'彼はご飯を食べている。'

24

- b. uA²²³ tciA¹³ tɿA²⁵⁴ xuy¹³ tsuA²²³ tsuA²⁵⁴ tɿŋ¹³ -tɿA²⁵⁴ *(liA²²³) 注意喚起
兀家的房子着灯 ZHE2 SFP
‘彼の家は電気がついている。’

■ 蒲県方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2はアスペクト上において混用現象が見られる(Cf.(20)-(21))。したがって、ZHE2にはモーダル機能がある。蒲県方言のZHE2には<仮定>の意味があるが、<確認>の意味はない。

- (29) a. ni⁵⁵ iou⁵⁵ sɿ¹¹ -tɿv, te⁵ iou²¹ lei²⁴.
你有事 ZHE2 就来
‘君は用事があったら、来てください。’
b. *tɿv²⁴ tci²¹ ua²⁴ t'ie²¹ xua⁵³ -tɿv li.
这个娃听话 ZHE2 SFP
‘この子はおとなしいよ。’

25

■ 趙城方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2の間にアスペクト上の混用現象が見られる(Cf.(3)-(4))。一方、ZHE2にモーダル機能が観察される。趙城方言のZHE2は<確認>の意味があるが、<仮定>の意味はない。

- (30) a. t'a¹¹ yæ³³ i³³ ŋuo¹¹ -tɿv *(li) (程度が高い)
他愿意我 ZHE2 SFP
‘彼はあたしのことが大好きみたい。’
b. iou¹¹ sɿ-r³³ (*-tɿv), ni¹¹ te⁵ iou³³ lei¹³.
有事 ZHE2 你就来
‘君は用事があったら、来てください。’

■ 聞喜方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2はアスペクト上の混用が見られる(Cf.(22)-(23))。一方、ZHE2にもモーダル機能を持っている。趙城方言と同様、<確認>の意味はあるが、<仮定>の意味はない。

26

- (31) a. tsə wa k'ə t'ie fie -tsie lie. (程度が高い)
这娃可听说 ZHE2 SFP
‘この子はかなりおとなしいよ。’
b. iu sɿ (*-tsie), tciu ta tian xua.
有事 ZHE2, 就打电话
‘君は用事があったら、電話をかけてきてね。’

■ 万榮方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2はアスペクト上の混用がある(Cf.(24)-(25))。一方、ZHE2にもモーダル機能がある。万榮方言のZHE2に<確認>の意味があるが、<仮定>の意味はない。

- (32) a. t'a¹¹ yæ³³ i³³ ŋuo¹¹ -tɿv *(li) (程度が低い)
他愿意我 ZHE2 SFP
‘彼はあたしのことがまあまあ好きだ。’
b. iou¹¹ sɿ-r³³ (*-tɿv), ni¹¹ te⁵ iou³³ lei¹³.
有事 ZHE2 你就来
‘君は用事があったら、来てください。’

27

■ 運城方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2はアスペクト上の混用現象がある。Cf.(26)-(27)。一方、ZHE2にもモーダル機能が含まれる。運城方言のZHE2は、<仮定>と<確認>の意味を両方持っている。

- (33) iou⁵³ sɿ³³ -tɿv, ni⁵³ te⁵ iu³³ li¹³. <仮定>
有事 ZHE2, 你就来
‘君は用事があったら、来てください。’
(34) a. t'a⁵³ ŋe³³ ni⁵³ mo?
他爱你么
‘彼は君を愛している?’
b. ŋe³³ (ŋuo⁵³) -tɿv le. <確認(程度が低い)>
爱我 ZHE2 SFP
‘まあ、愛している。’

28

- ZHE1とZHE2の間にアスペクト上の混用現象が観察されない方言では、ZHE2のモーダル機能も見られない。

■ 武郷方言におけるZHE2のモーダル機能

ZHE1とZHE2の間にアスペクト上の混用が見られず(Cf.(14)-(15))、従ってZHE2にもモーダル機能が見られない。

- (35) a. nɿ²¹³ iə⁵⁵ ivu²¹³ sɿ⁵⁵ t'e⁵ ian (*-tv), tsvu⁵⁵ le³³ cian³³ vɿ²¹³ le³³.
你要有事 ZHE2 就来寻我来
‘君は用事があったら、ぼくのところに来てください。’
b. tsə²³ kv xe³³-tv k'v⁴² t'ian²¹³ suə²³ (*-tv) ly.
这个孩子可听说 ZHE2 SFP
‘この子はかなりおとなしいよ。’

29

■ 平遥方言におけるモーダル機能

ZHE1とZHE2の間にアスペクト上の混用現象が見られない(Cf.(1)-(2))、従って、ZHE2にはモーダル機能が含まれない。

- (36) a. *tɿŋ¹³ saŋ¹³ tæ³⁵ tciŋ³⁵ uA²²³ tciA¹³ -tɿA²⁵⁴ liA²²³.
张三待见兀家 ZHE2 SFP
b. tɿŋ¹³ saŋ¹³ k'i⁵³ tæ³⁵ tciŋ³⁵ uA²²³ tciA¹³ liA²²³.
张三可待见兀家 SFP
‘張三は彼女のことがかなり好きだよ。’

■ 霍州方言におけるモーダル機能

霍州方言のZHE1とZHE2はアスペクト上の対立を失っているが、両者の間に混用が見られないため(cf.(18)-(19))、霍州方言のZHE2にもモーダル機能がない。

- (37) a. *ni³³ iou³³ sɿ⁵³ -tɿv te⁵ iou⁵³ lei³⁵.
你有事 ZHE2 就来

30

b. ni³³ iəu³³ ʃɿ⁵³ lɿu te'iəu⁵³ lei³⁵.
 你有事了就来
 '君は用事があったら、来てください。'

(38) a. *t'ɿ³³ yan⁵³ i⁵⁵ ŋuɿ³³ -tʃɿ lie.
 他愿意我 ZHE2 SFP
 b. t'ɿ³³ k'ei⁵³ yan⁵³ i⁵⁵ ŋuɿ³³ (?-tʃɿ) lie.
 他可愿意我 ZHE2 SFP
 '彼はあたしのことがかなり好きだよ。'

- ZHE2のモーダル機能獲得

```

    graph TD
        A[モーダル句] --> B[アスペクト句]
        A --> C[モーダル ( )-o]
        B --> D[動詞句]
        B --> E[名詞句]
        D --> F[V-持続/進行 ZHE1]
        E --> G[持続/進行 ZHE2]
        G --> C
    
```

31

根拠5:新機能の確立による旧機能の喪失

- 北京語のZHE2はZHE1との混用を避けるために、アスペクト機能を放棄し、モーダル機能に特化するようにになっている。北京語におけるZHE2のモーダル機能は<確認>である。

(39) a. t'a⁵⁵ tʃɿŋ⁵¹ tʃ'ɿ⁵⁵ -tʃɿ fan⁵¹ nɿ.
 他正吃 ZHE1 飯 SFP
 b. *t'a⁵⁵ tʃɿŋ⁵¹ tʃ'ɿ⁵⁵ fan⁵¹ -tʃɿ nɿ.
 他正吃饭 ZHE2 SFP
 '彼はご飯を食べている。'

32

(40) a. t'a⁵⁵ tciə⁵⁵ tien²¹⁴ -tʃɿ tvŋ⁵⁵ nɿ.
 他家点 ZHE1 灯 SFP
 b. *t'a⁵⁵ tciə⁵⁵ tien²¹⁴ tvŋ⁵⁵ -tʃɿ nɿ.
 他家点灯 ZHE2 SFP
 '彼の家はまだ電気がついている。'

(41) a. tʃɿ⁵¹ xai³⁵ tsɿ t'ŋ⁵⁵ xua⁵¹ -tʃɿ nɿ.
 这孩子听话 ZHE2 SFP
 'この子はおとなしいよ。'
 b. uo²¹⁴ pu³⁵ ciəŋ⁵¹ t'a⁵⁵ mən, mei³⁵ tciə⁵¹ tsɿ, ai⁵¹ tciəu⁵⁵ -tʃɿ nɿ.
 我不像他们没架子爱教 ZHE2 SFP
 'ぼくは彼らと違って、プライドがなく、教えるのが大好きだ。'
 (王朔:过把瘾死)

(42) *uo²¹⁴ ʃɿ⁵¹ ni²¹⁴ -tʃɿ uo²¹⁴ tciu⁵¹ tsou²¹⁴.
 我是你 ZHE2 我就走
 'ぼくが君だったとしたら、帰るよ。'

33

- ZHE2のアスペクト機能消失

```

    graph TD
        A[モーダル句] --> B[アスペクト句]
        A --> C[モーダル ZHE2-nɿ]
        B --> D[動詞句]
        B --> E[名詞句]
        D --> F[V-持続/進行 ZHE1]
        E --> G[進行/持続 (x)]
        G --> C
    
```

34

結論

- 文法化過程におけるZHE1とZHE2の分岐と合流
 - 移動動詞[自主対立]: ZHE1(theme/goal) <対象物付着>
 ↓
 ZHE2(agent/goal) <動作者付着>
 - 空間範疇[自主対立]: V-ZHE1(存在) <対象付着の結果>
 ↓
 V-ZHE2(方向) <動作者付着の結果>
 - アスペクト範疇[自主対立]: V-ZHE1(持続) <状態付着>
 ↓
 VP-ZHE2(進行) <動作付着>
 - 新機能誕生[自主対立]: V-ZHE1(持続・進行) <ZHE2と混用>
 ↓
 VP-ZHE2(持続・進行) <ZHE1と混用>
 VP-ZHE2(確認・假定) <モーダル>
 - 旧機能消失[自主対立]: V-ZHE1(持続・進行) <アスペクト>
 ↓
 VP-ZHE2(持続・進行) ← <アスペクト混用>
 VP-ZHE2(確認) <モーダル>

35

- 鸣谢

平遥方言被调查人: 張喜琴27歳(平遥段村19年)、郭蘭英55歳(平遥古城55年)、王瓊20歳(平遥段村13年)、王恩海56歳(平遥古城30年)。
 武乡方言被调查人: 王野萍25歳(武郷泉城19年)、武潔瓊22歳(武郷豊州鎮18年)、張晋蘭56歳(武郷泉城56年)、武愛名72歳(武郷泉城72年)。
 蒲县方言被调查人: 馮青玲22歳(蒲泉城関鎮18年)、張鵬25歳(蒲泉城関鎮)、張春龍43歳(蒲泉城関鎮)、師向東41歳(蒲泉黒龍関鎮)。
 赵城方言被调查人: 董小燕22歳(洪洞泉趙城石止村19年)。
 万荣方言被调查人: 薛志霞23歳(万榮泉光華郷16年)、李廷玉44歳(万榮泉39年)。
 霍州方言被调查人: 趙雪伶24歳(霍州市18年)、馮良珍中年(霍州市区18年以上)。
 运城方言被调查人: 靳方圓19歳(運城市19年)、李国霞21歳(運城市21年)。
 闻喜方言被调查人: 楊淑芳39歳(聞喜县郭家庄27年)。
- 参考文献

蔡 權 1994. 《蒲泉方言志》, 山西高校联合出版社:太原
 曹广順 1995. 「近代汉语助詞」 语文出版社: 北京.
 郭校珍 2001. 「山西晋语语法专题研究」 博士学位论文, 复旦大学.

36

- 馮良珍·沈力2008.「霍州方言的内部差異及其成因」喬全生(編)『晉方言研究—第三屆晉方言國際學術研討會論文集-I』,pp.326-334,希望出版社.
- 侯精一1982.《平遙方言簡志》,《語文研究》增刊.
- 侯精一1999.《現代晉語的研究》商務印書館:北京.
- 劉勛寧1985.《現代漢語句尾“了”的來源》,《方言》No.2.
- 劉勳寧1988.《現代漢語詞尾“了”的語法意義》,《中國語文》No.5.
- 劉勳寧1990.《現代漢語句尾“了”的語法意義及其與詞尾“了”的聯繫》,《世界漢語教學》No.2.
- 梅祖麟1988.「漢語方言里虛詞“著”字三種用法的來源」《中國語言學報》第三期.
- 喬全生2000.《晉方言語法研究》商務印書館:北京.
- 沈力2003.「漢語的直陳語態范畴」《語法研究和探索(十二)》,商務印書館.
- 沈力2004.「Aspect Agreement and Light Verbs in Chinese: A Comparison with Japanese」*Journal of East Asian Linguistics No. 13, 141-179*.
- 沈力2008.「語氣助詞ZHE2的來源—晉方言與北京方言的比較」喬全生(編)『晉方言研究—第三屆晉方言國際學術研討會論文集-I』,pp.223-232,希望出版社.
- 史素芬/李奇1990.《武鄉方言志》,山西高校聯合出版社:太原.
- 史素芬2002.《武鄉方言研究》,山西人民出版社:太原.
- 孫朝奮1998.「再論助詞“着”的用法及其來源」,收於郭錫良主編《古漢語語法論集》,語文出版社,北京,pp.626-642.
- 吳建生1982.《萬榮方言志》,《語文研究》增刊(11).

37



- ご来聴ありがとうございました。
- Thank you very much!

38